

近畿中部



「近中くん」
近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
生年月日：平成19年9月1日（防災の日）
出身：近畿中部地方
名前：近中くん（きんちゅうくん）
職業：徳し業
宝物：手作りのまが玉札
趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、オリックス）
特技：たこ焼き、きしめんの早食い

近畿中部防衛局広報誌

2017
7 - 9 月号



護衛艦 「ひゅうが」（写真提供：舞鶴地方総監部広報）

目次

部隊紹介～海上自衛隊舞鶴地区	2
第32回 防衛セミナー開催（福井市）	3
FM 収録（串本分屯基地）・南海レスキュー29	4
し尿処理施設（環境衛生プラント）稼働開始・深海救難艇着水式	5
米軍経ヶ岬通信所に関する動き	6
近畿中部防衛局からのお知らせ	7
なるほど防衛豆知識～「SM-3ブロックⅡAとは？」	8

部隊紹介 ～海上自衛隊舞鶴地区～

京都府舞鶴市に所在する海上自衛隊は、北は秋田県から西は島根県までの日本海を警備区域として、港湾・沿岸の警備、災害派遣、自衛艦隊等の正面部隊への補給・整備等の支援、新入隊員の教育等の広範な任務を担当する舞鶴地方隊、自衛艦隊に所属する第3護衛隊群、第14護衛隊及び第23航空隊、経理、補給等の教育を担当する第4術科学校等、多数の部隊が所属し、日本海側における一大拠点となっています。

同地区に所在する部隊は、平成13年から同22年まで行われたインド洋派遣、ソマリア・アデン湾における海賊対処部隊への艦艇、航空機の派遣等の任務を遂行するとともに、東日本大震災において艦艇、航空機等を派遣するなど活動の規模を拡大しています。



護衛艦「ひゅうが」



哨戒機「SH-60K」

舞鶴は、日本海海戦時の連合艦隊司令長官として有名な東郷平八郎元帥を初代長官として明治34年に海軍鎮守府が開設されて以来、海軍ゆかりの施設が多く作られてきました。

中でも舞鶴地方総監部は、昭和32年に旧海軍機関学校跡に移転したものです。主要な建物は、第1庁舎をはじめとして旧海軍機関学校の建物を使用しており、その大講堂の一部には海軍記念館が設置されて旧海軍に関する貴重な資料が展示されています。



舞鶴地方総監部第1庁舎
(旧海軍機関学校庁舎)



第4術科学校庁舎
(旧海軍機関学校生徒館)



舞鶴地方総監部大講堂・海軍記念館
(旧海軍機関学校大講堂)

(たたず)

また、歴代長官の官舎であった和洋折衷の佇まいや庭園が美しい通称「東郷邸」も現存し、このような歴史的な建物等は隊員の教育施設としても必要とされています。



当時から使用されている鬼瓦
(錨マーク入り)



舞鶴地方総監部会議所 (旧舞鶴鎮守府長官官邸)



(写真提供：舞鶴地方総監部広報・23航空隊HP)

第32回 防衛セミナー（福井市）

当局は、7月11日（火）、福井市の福井国際交流会館において、「第32回防衛セミナー」を開催しました。

藤代局長の主催者挨拶に続いて、防衛省防衛政策局防衛政策課の加野課長から「北朝鮮情勢と弾道ミサイル防衛について」、内閣官房副長官補付の槇本（はしもと）内閣参事官から「Jアラートによる弾道ミサイル情報の伝達について」と題して、それぞれご講演いただきました。



藤代局長

当日は約150名の方が聴講され、「弾道ミサイルやJアラートについてよく理解できた」、「緊急時には少しは冷静に行動できる様になった」、「Jアラートをもっと広く国民、県民に周知すべきだ」など多数のご意見、ご感想を頂戴しました。

当局としては、今後とも、皆様からいただいたご意見を参考にしつつ、工夫を凝らしたセミナーを企画してまいります。



加野防衛政策課長



槇本内閣参事官



質疑応答の様子

（左から、藤代局長／加野課長／槇本参事官）



会場の様子

FM収録（串本分屯基地）

当局では、和歌山県湯浅町のコミュニティFM局FMマザーシップ「防衛問答近中でござる」に局長ほか幹部が出演し、防衛局の業務紹介をメインに防衛省全般、管内陸海空自衛隊及び米軍関連の行事などの紹介を行っています。

6月14日（水）、7月放送の収録では、スタジオを飛び出し、和歌山県串本町に所在する航空自衛隊串本分屯基地を訪問し、吉村基地司令のほか監視小隊、通信電子小隊、基地業務小隊の代表者へのインタビュー、また、毎年、ウルトラマラソンに参加しているという隊員や「くしもと黒潮カレー」を開発した隊員の秘話など聞くことができ、スタジオとは違い和やかな雰囲気の中で収録が行われました。



F M収録に参加する隊員と収録の様子

放送は、当局ホームページ「FMラジオ近中でござる」で是非お聞きください

南海レスキュー29

中部方面隊は、今年で5回目となる南海トラフ地震の発生を想定した防災演習（「南海レスキュー29」）を6月20日（火）から24日（土）までの間、実施しました。

この間、地方自治体などとの連絡・調整、陸・海・空自衛隊等の連携並びに陸自の他方面隊からの増援部隊の受け入れによる救援活動の実効性の向上など中部方面隊の大規模震災対処能力の向上を目的として、指揮所演習と実働演習が実施されました。

当局は6月21日（水）、職員13名が「南海レスキュー29」の研修を行い、南海トラフ地震発生時における自衛隊の対処行動に関する理解を深めるとともに、米軍支援部隊の受け入れにあたっての調整・連絡要領、陸自等と当局技術支援チームとの連携要領など自衛隊と局との間で調整・連携すべき事項について意見交換を行いました。



通信事業者との空輸訓練



当局職員の研修状況

し尿処理施設（舞鶴市環境衛生プラント）稼働開始

8 月 29 日（火）、京都府舞鶴市において、民生安定施設整備事業により整備した、「し尿処理施設」の竣工式が挙行されました。竣工式には、多々見舞鶴市長をはじめとする多くの関係者の方々が出席され、当局から藤代局長が出席して祝辞を述べ、施設の完成を祝いました。

本施設は、防衛施設から排出されるし尿を継続的かつ安定的に受け入れるためのものですが、現況施設が約 50 年経過し老朽化により、適正な処理が困難になったことから更新（鉄筋コンクリート造、延べ床面積 1,167.95㎡）されたものです。

この施設は、し尿や浄化槽汚泥を衛生的に処理し、環境にやさしい持続可能なまちづくりに大いに役立つものとなっています。

当局としては、今後とも防衛施設周辺の住民の方々の生活環境の改善のための各種施策の実施に取り組んでまいります。



施設外観



テープカット

深海救難艇（DSRV）着水式

9 月 4 日（月）、川崎重工業（株）神戸工場（神戸市中央区）において、深海救難艇の着水式が行われました。本艇には搭載母艦名と同じ「ちよだ」の名が付けられ、着水式において池田地方総監を始めとする防衛省関係者及び川崎重工業（株）関係者等、約 160 人が見守る中、ゆっくりと降下し、海面に浮かびました。

深海救難艇（DSRV）とは Deep Submergence Rescue Vehicle の略であり、潜水艦救難艇に搭載され、事故あるいは故障のため自らの力で浮き上がることができなくなった潜水艦（遭難潜水艦）から乗員を救出することを任務としています。

本艇は、平成 11 年以来約 18 年ぶりの着水式であり、今後母艦に搭載され平成 30 年 3 月に海上自衛隊に引き渡される予定です。



深海救難艇全景



支綱切断風景
(しこう)



支綱切断後の着水の様子

米軍経ヶ岬通信所に関する動き

日米交流音楽会

当局は、8月25日（金）、京丹後市の京都府丹後文化会館において、日米交流音楽会を開催しました。在日米陸軍軍楽隊サボール・カリアンテ&アコースティックシンメトリー、地元の丹後吹奏楽団及び日本木琴協会丹後支部マリンバアンサンブル並びに米軍経ヶ岬通信所が出演し、演奏や歌、パフォーマンスを披露しました。

音楽会は、丹後吹奏楽団が ABBA の「Dancing Queen」等、マリンバアンサンブルが「フォスターメドレー」等を演奏した後、神奈川県座間市に所在するキャンプ座間から来演した 在日米陸軍軍楽隊が「Sukiyaki（上を向いて歩こう）」の他、ラテンジャズをメインに約 10 曲を演奏し、会場は大いに盛り上がりました。

さらに、アンコールでは、「ルパン三世 '80」や国旗のパフォーマンスを取り入れた「星条旗よ永遠なれ」を全楽団によりコラボ演奏し、日米交流にふさわしい内容となり、大盛況のうちに幕を閉じました。

また、当日は、京丹後市全域から約 600 名の方が来場され、日米双方による音楽演奏を楽しんでいただき、出演者と来場者が一体となった機会となりました。当局としましては、今後とも、皆様に楽しんでいただけるイベントを開催することで、日米友好の架け橋となるように取り組んでまいります。



丹後吹奏楽団の演奏



丹後吹奏楽団 & マリンバアンサンブルのコラボ演奏



在日米陸軍軍楽隊の演奏



在日米陸軍軍楽隊の演奏



出演者全員で記念撮影



マリンバアンサンブルの演奏



在日米陸軍軍楽隊の演奏



日米コラボ演奏



フィナーレの様子

近畿中部防衛局からのお知らせ

優秀工事の顕彰状贈呈式

6月30日（金）、当局において、当局発注工事の優秀工事受注者等に対する顕彰状の贈呈式を行いました。

この表彰は、特に品質等が優れ、他の模範とするにふさわしい優秀工事を表彰することにより、入札参加者の受注意欲を高め工事目的物の品質確保を図る等、円滑な施設取得の推進に資することを目的としています。

今年度は、優秀工事5件及び優秀工事技術者6者が選定され、当局の河本調達部長から顕彰状が贈呈されました。



受賞者と河本調達部長及び関係者

部長顕彰 対象工事	受賞者(敬称略)
舞鶴(27)教育隊隊舎新設建築追加工事	鉄建建設株式会社 大阪支店 現場代理人: 埴田 裕治 監理技術者: 荒木 眞彦
伊丹(27)宿舎外改修建築工事	株式会社 古瀬組 監理技術者: 酒井 直規
舞鶴(27)公共下水接続工事	櫻井工業株式会社 監理技術者: 波多野 智哉
経ヶ岬(26)敷地造成等工事	鶴美建設株式会社
桂(27)庁舎新設等機械工事	株式会社 藤尾設備工業所 現場代理人: 青木 弘 監理技術者: 有若 宏

業務紹介～管理部施設管理課

施設管理課は、自衛隊施設などの国有財産の管理に関する業務を12名の職員で行っています。また、内4名が女性職員であり、当局各課の中でも女性の割合が多い課です。

業務の一部をご紹介しますと、

- ・ 自衛隊が使用する土地の測量や境界の確定
- ・ 訓練に必要な土地、建物などを取得した場合の国有財産台帳への記録
- ・ 自衛隊施設に設置する郵便ポストや電柱、基地が開催するイベントの際の模擬店出店など一時的な土地の使用許可
- ・ 航空機による騒音の緩衝地帯として当局が買い入れた土地の維持管理及び公共目的に使用する場合の使用許可
- ・ 米軍に提供している施設の把握や自衛隊施設を一時的に米軍が使用するための手続きなどがあります。



測量の様子

このように多岐にわたる業務を通じて、自衛隊や在日米軍が防衛施設を効率的に使用することができるよう努めております。



なるほど防衛豆知識

質問：SM-3ブロックII Aとは？

回答：

現在、新たな弾道ミサイル防衛用のミサイルとして、SM-3ブロックII Aを開発しています。

SM-3ブロックII Aは、イージス艦から発射され、飛来する弾道ミサイルを迎撃するミサイルです。従来のSM-3ブロックI Aに比べて性能が大幅に向上するため、防護範囲が拡大します。

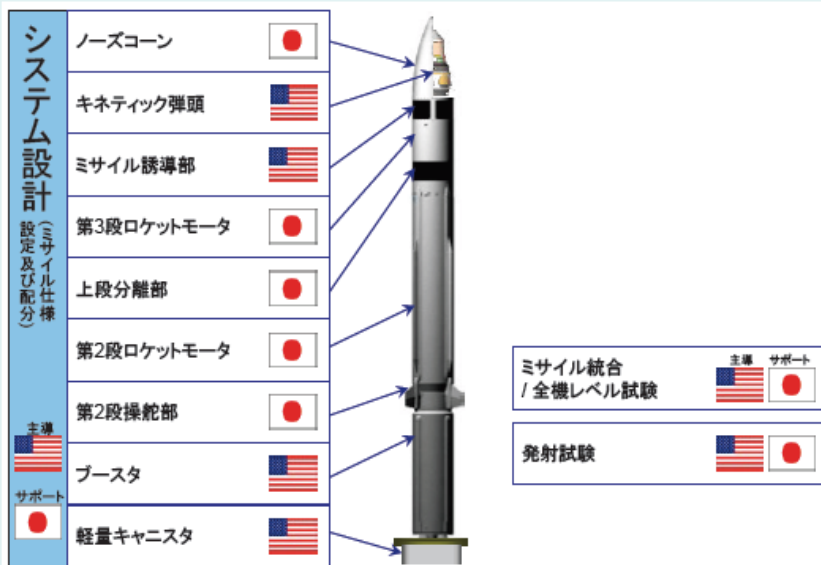
また、通常よりも高い軌道（ロフテッド軌道）で飛来する弾道ミサイルなどへの対処能力も向上しており、今後、量産・配備されれば、わが国の弾道ミサイルへの備えは、飛躍的に強化されることとなります。なお、SM-3ブロックII Aは、日米共同開発のミサイルです。

日米が連携・協力して研究開発を進めてきたことは、日米の結びつきの強化に貢献してきました。

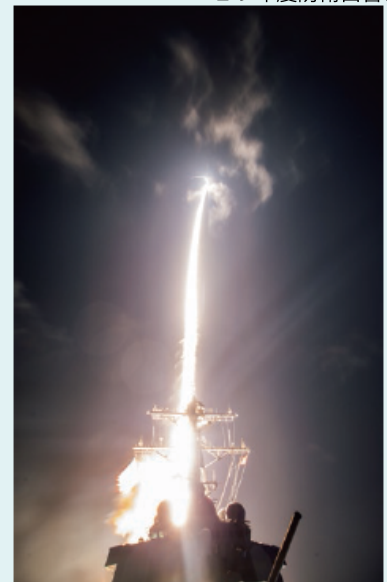
また、開発・製造を通じて培われる先進的な技術力やノウハウを踏まえれば、わが国の防衛産業にとっても、日米共同開発の意義は大きいと言えます。

2月の発射試験では、弾道ミサイルを模した標的の迎撃に成功し、SM-3ブロックII Aの開発は最終段階に入っています。早期の開発完了に向けて、日米両国の努力が続けられています。

29年度防衛白書より



SM-3ブロックII Aの日米の開発分担



SM-3ブロックII Aの発射試験の様子
(平成29年2月米国ハワイ沖)

■ ご意見・ご感想等募集 ■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動や当局の取り組みなどを皆様に分かりやすくお知らせしていきたいと考えております。

本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

(住所)

〒540-0008

大阪市中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

(電話・FAX)

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

(メールアドレス)

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先

TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2017年7-9月号（通算第49号）

平成29年9月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953

URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

近畿中部防衛局広報誌近畿中部は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。